



大きな木



誰だって大きくなれる

ミノムシの家

がんばればきっと大きくなれる

自分がどこから生まれたか

自分が誰なのか

全く知らない

それでも一生懸命生きてきた

踏まれても

誰にも気付かれなくても

名前がなくなっても

一生懸命生きてきた

少しずつ大きくなって

どんどん大きくなって

枯れずにがんばった

いつのまにか

私の前で

人々が手を合わせるようになった

私の周りに

白くてがっちりとした縄がしつらわれた。

ご神木

万寿の木

名前もつけてもらった

何も悩むことはなかったんだ

ただ生きているだけで

誰かのためになれる